

# 新ニッポンの話芸

19:00開演 (開場18:30)

新シリーズ始動!

第5回

11月27日 火

第6回 2013

1月26日 土

第7回

2月19日 火

特別企画!



2012年7月からスタートしたこの公演第1回(7月)~第5回(11月)のチケット3公演分をお持ちのお客様に、本公演第8回まで使える御招待引換券をプレゼントしています!詳しくは成城ホール事務室まで!  
(TEL:03-3482-1313)

新ニッポンの話芸ポッドキャスト配信中!  
出演者陣の裏話満載!(毎週金曜配信予定)  
<http://www.rakugo-podcast.com/shinwagei/>



立川こしら



鈴々舎馬るこ

3回見れば1回タダ!!



三遊亭きつつき

立川こしら、鈴々舎馬るこ、三遊亭きつつき。今、最もホットなこの三人の若手が激突するエキサイティングな落語会が「新ニッポンの話芸」だ。こしらはその掟破りの芸風で「立川流の異端児」と呼ばれながら、観客のハートをガッチリ掴んで見事に「談志の孫弟子初の真打昇進」を決めた、志らく一門の奇才。馬るこは落語協会前会長・鈴々舎馬風の弟子で、正攻法も飛び道具も、どちらもイケる。モットーの「落語初心者も大爆笑」はダテじゃない。きつつきは圓楽党の重鎮・三遊亭圓橘の弟子。古典の正統を熟知しながら現代のセンスを存分に注ぎ込んで確立した「自分の落語」で暴れる熱血のストロングスタイルはすべての落語ファンを魅了する。三遊亭兼好に続く「圓楽党のホープ」で、2013年春の真打昇進も決まっている。こしら・馬るこ・きつつき。この三人は、個性はまったく異なるが、落語を窮屈な様式美の世界に閉じ込めることなく「現代に生きる大衆芸能」として提示している、という点で一致している。彼らを観ずして落語界の明日は語れない。

文●広瀬和生

会場 成城ホール (世田谷区成城6-2-1)  
TEL 03-3482-1313 成城学園前駅 徒歩4分  
料金 前売2,500円 (全指定)  
当日2,800円

※11月分発売中! 1、2月分は12月7日金曜日発売  
<チケット取扱い>  
成城ホール 北沢タウンホール (窓口販売のみ)  
e+ (イープラス) <http://eplus.jp>  
カンフェティ <http://confetti-web.com/>  
0120-240-540 (平日10時~18時)  
主催 成城ホール (アクティオ株式会社)  
お問合せ 成城ホール 03-3482-1313  
チラシデザイン 合同会社第70